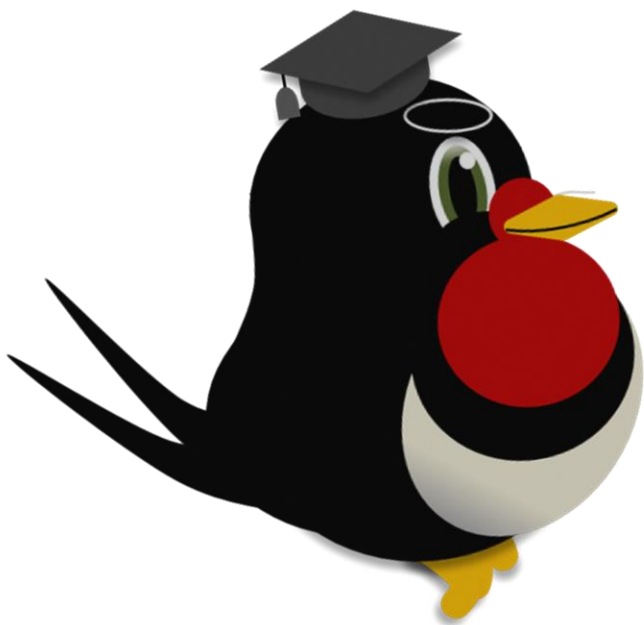


令和7年度
羽ばたけつばくろ
応援事業



活 動 報 告 書

燕市教育委員会

～若者の「やってみたい！」を応援します～ 羽ばたけつばくろ応援事業

燕市では、若者の主体的な活動を応援する、「羽ばたけつばくろ応援事業」を実施しています。

対象は、「燕市に住所を有する高校生から20歳までの個人」または「燕市に住所を有する小学生から20歳までの者が代表となる団体・グループ」とし、将来を担う人材の育成を目指します。

若者が将来なりたい自分を設計し、実現するための自己啓発、体験活動、学習、研究、視察などの活動や、地域で取り組むイベント、地域活動など社会参画事業の企画を募集し、個人は10万円、団体は25万円を限度にして補助を行います。

若者たちの「達成したい目標」、「叶えたい夢」、「住んでいるまちをもっとよくしたい」の実現に向け一歩踏み出すきっかけづくりを応援していきます！

なお、本報告書は令和8年2月28日（土）に開催した「羽ばたけつばくろ応援事業成果報告会」における9団体の成果報告の概要を取りまとめたものです。





皆さま、本日は発表をいただき、ありがとうございました。小学校から大学生までの発表があり、とても充実した報告会だったと思っています。

全体をとおして感じたことは、最後発表いただいた吉田小学校3年生も仰っていたとおり「燕をよくしたい」「燕の良さをたくさんの人に知ってもらいたい」という思いが具体的な形となって実を結んでいる点が大変素晴らしいということです。6月の時点でアイデアをたくさん出していただいて、アイデアにとどまらず企画して、実際に動いて試行錯誤しながら実施までたどり着いた点は、プロジェクトの大きな成果だと感じています。

特に印象的だったのは、皆さまが誰に対して思いを伝えたいかという所を、具体的に思い描きながら活動を進めていたことが、それぞれの発表から伝わってきた点です。誰のために、何故行うのか考えた結果、発表のスライドの中にたくさんの方々の笑顔の写真があったことが印象に残りました。

一方で企画をさらに発展させるための課題も見えてきたと思います。例えば、取り組みの成果をどういった指標で測るか、燕の魅力が相手にどのように伝わったのかといった点です。1つ1つの活動はとても意義のあるものだと思います。しかしながら、成果をどのように整理し、どういった形で燕という地域の中に伝えていくことができるかという視点を持つことで、皆さま方の取り組みに説得力が増していくと思います。

今回、二次元コードでアンケートを取った団体がいくつかありました。これは、一歩踏み込んだ成果の整理・評価につながるものと期待しています。燕の良さを知ってもらおうという目的に立ち返った時に、どのような方法であれば、より多くの人に、そしてより深く知ってもらえるか、今回の経験を踏まえて考えを深めていただくと、それぞれのプロジェクトを次の段階に進める良いきっかけになると思います。

皆さまの経験は企画力、実行力、仲間との協同力を大きく伸ばすきっかけになったと思います。うまくいったこともあれば、いかなかったこと、苦労したことがあったと思います。ぜひ、それらも含めて、皆さまの経験として心に留めていただきたいと思います。

皆さまの挑戦は、燕市にとって大きな影響力、大きな価値を持つものであると、発表を聞いて思いました。ですので、今回だけで終わりにせず、ぜひ次回のチャレンジもお待ちしております。

ご協力いただいた、先生方、保護者の方々ありがとうございました。

次回の応募も楽しみにしています。頑張ってください。

●佐野 大輔燕市長による労いの言葉



1年間活動してきた皆さま、本当にお疲れ様でした。「本当にありがとうございました」という言葉を伝えたいと思います。最後に発表いただいた吉田小学校3年生が“つばめのすてき”とっておられました。本当にそれぞれの活動で“つばめのすてき”を形にさせていただいたと思います。

1つずつ、少しでも振り返らせていただきます。

【燕ジョイ活動部】私も夏祭りの時に、オリジナルスイーツを食べさせていただきましたが、本当に美味しかったです。素敵なロゴも作成いただいたとことで活かしていただきたいです。つばくろ米を使ったスイーツは、今までないと思いますので、ぜひスワローズとの連携の中で活用していきたいと思いました。

【まちあそび部】トマミソカレー豚丼は少しずつ燕の方々、特に子どもたちには伝わってきていますが、今回の活動によって色々な人に伝わる大きな役割を担っていただきました。レトルト販売など次のステップに進んでいる点も良かったと思いました。

【笑恵笑恵】地域の中でボランティアの活動をしていただき、今後いろいろな人が支えあっていく中で非常に大事な活動していただいたと思います。

【魚魚】B級グルメということで燕パニーニについて、鮭の焼漬を作っている方も市内にいらっしゃるの、良いコラボが出来たらと思います。

【PPL（プルプッシュレグ）】私も食生活を見直していこうと思いました。筋肉弁当、健康弁当とても美味しそうと思いましたし食べたことがないため、これからも継続して販売してほしいです。

【グッティ〜♪】ぜひ野菜クッキーを、子どもに食べてほしいと思いました。例えば、ハレラテ燕など色々な子どもが集まる場所での販売が出来たら面白いと思います。子供たちの野菜嫌いが増えているため、野菜嫌い克服のための良い提案をしてもらいました。

【Swallow】すごろくを見て、単純に欲しいと感じました。市長室に置かせてもらいたいですし、ハレラテ燕やこどもの森に置いて、子どもたちが自然に触れて燕の良さを知ってもらえる機会になると感じました。つばめっ子かるた、つばめトランプに続いて第三弾としても良いくらい素敵だと感じました。

【燕中等教育学校サイエンス部】毎年いろいろな角度から精度が高く、誰もが楽しめる生物の図鑑を作っていて、佐渡で発見された生物や豆知識など、見るだけでわくわくしました。先輩方の作ったものを含めて、まとめて一緒に見たいと思いました。

【吉田小学校3年生】“つばめのすてき”という言葉を私も使いたいと思いましたし、活動をとおして地域との繋がりを感じられたと思います。今回見られなかったCM、劇、“つばめのすてき”ソングを、どこかで見ることができたら見たいと思いました。

今回の皆さまの活動で、“つばめのすてき”を形にさせていただいたと思っています。羽ばたけつばくろ応援事業は、皆さまのやりたいことを少しでも形にできるように、燕市として支援している事業になります。今回はきっかけづくりであり、活動して燕の良さを知れたと思いますし、皆さまの頑張っている姿を見て、動いてくれる大人がたくさんいるのが燕だと思っています。

今回をきっかけに新しいチャレンジをしていただいて、“つばめのすてき”を集めていただきたいと思います。また皆さま自身が、“つばめのすてき”として活躍して欲しいと思っています。

素敵な発表をありがとうございました。燕市でも、引き続き皆さまの挑戦を応援していきますので、ぜひチャレンジしてみてください。

燕にまつわる食材、燕をモチーフにした“オリジナルスイーツ”を開発し、市内外の各イベントにて提供または販売したい。



団体名	燕ジョイ活動部オリジナルスイーツ開発チーム
活動の目標	燕市にまつわる食材や、燕をモチーフにした“オリジナルスイーツ”を開発し、そのスイーツを市内外のイベントで提供または販売することで、燕を知らない人に燕を知ってもらうきっかけを創出する。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・燕にまつわる食材や、燕をモチーフにした“オリジナルスイーツ”を開発し、そのスイーツを市内外のイベントで提供または販売する。 ・提供または販売するイベントは、飛燕夏祭りなどの燕市内で開催されるイベント、つばめ若者会議などで交流する市外自治体で開催されるイベントになる。
活動の成果	2回市内のイベントに参加させていただき、オリジナルサブレ・オリジナルパンケーキを多くの方に体験いただいた。
これからの目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はサブレとパンケーキの販売を行ったが、違うスイーツの開発に取り組み、燕市産の他の食材を用いたスイーツを開発していきたい。 ・燕ジョイ活動部のオリジナルスイーツ開発は今年度で終わるのではなく、今回の経験を今後にかせるよう取り組んでいきたい。

「つばめトマト」を使用したトマみそカレー豚丼を調理し、
燕市内外各イベントにて販売したい。



<p>団体名</p>	<p>燕市役所まちあそび部つばめトマみそカレー豚丼チーム</p>
<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「つばめトマト」を使用したトマみそカレー豚丼を調理し、イベントを通じ市内外問わず、多くの方に食べてもらう。 ・つばめトマトと燕市の給食メニューであるトマみそカレー豚丼の認知度向上を図る。
<p>活動の内容</p>	<p>トマみそカレー豚丼を調理し、飛燕夏祭りや、つばめ若者会議などで交流する市外で開催される市内外各イベントで提供または販売する。</p>
<p>活動の成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「飛燕夏祭り」での販売 (2) 大河津分水サンスフェスタでの販売 (3) ヤクルトライスファームイベントでの販売 (4) つばめいと夏の交流会での提供 (5) 移住者交流会での提供 (6) 南相馬市 LLO とのコラボカレーの販売
<p>これからの目標</p>	<p>今年度はトマみそカレー豚丼の魅力をより多くの人に知ってもらうために活動してきたが、燕市には他にも魅力的な“もの”“こと”“場所”があるのでそれらも知ってもらえるような活動もしてみたい。</p>

「大地の芸術祭」を訪れ ART を学び、
分水地区でのボランティア活動に活かす。



<p>団体名</p>	<p>分水高校 笑恵笑恵（えみえみ）</p>
<p>活動の目標</p>	<p>「大地の芸術祭」を訪れ、分水地域の「こども居場所 SAKURA」でのボランティア “お絵かき” と “読み聞かせ” に活かす。</p>
<p>活動の内容</p>	<p>子どもたちが楽しめる工作の作成、読み聞かせの練習等を行い、分水地区（こども居場所 SAKURA）でのボランティア活動に活かす。</p>
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月に分水図書館からの協力により、読み聞かせに参加、レッスンを受ける。 ・ 8月より本番に向け、工作物の選定・教え方を学び、9月6日「こども居場所 SAKURA」にてワークショップの開催。参加いただいた児童と一緒に工作物を作成、良寛さまの紙芝居も行った。 ・ 11月8日分水福祉会館で開催された、地域交流イベントに工作物を展示、「もらってうれしいカード」を作成し来場者へ配布した。
<p>これからの目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度も分水地域の「こども居場所 SAKURA」でのボランティア活動を継続したい。 ・ ワークショップの実施回数を増やしたい。

柏崎の“サバサンド”を超えろ



団体名	分水高校 魚魚（ぎょぎょ）
活動の目標	地元の店と協力して、燕市初のB級グルメ（新しい地域名物）開発を目指す。
活動の内容	柏崎名物の“サバサンド”に負けない、パンと魚を使ったコラボ商品を考え、地元の店と協力して開発する。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none">• 風恋人さん、山辰さんの協力を得て、「燕パニーニ（仮）」を作成。（元町キュウリとほぐした鮭漬を使用。）• 9月6日「子供の居場所 SAKURA」にて試食品を配布。（パン屋協力）
これからの目標	<ul style="list-style-type: none">• 店頭販売できる値段の材料を探し、店頭レギュラーメニュー化を実現する。• 「燕パニーニ（仮）」を燕市の新たなB級グルメにする。

燕市の食材を使った弁当を開発



団体名	PPL（プルプッシュレック）【吉田高校 盛燕プロジェクト】
活動の目標	燕市の食材を使ったオリジナル弁当を考案し、燕市の皆さんの健康に対する意識向上を目指す。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・燕市の食材を使ったオリジナルの弁当を開発する。 ・栄養のバランスがとれた健康弁当とタンパク質豊富な筋肉弁当を2種類考案する。 ・考案したものを燕市の弁当屋さんに依頼し、作っていただき、販売する。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・10月1日（水）から25日（土）までの期間で2種類の弁当を販売することができた。 ・アンケートの内容から、燕市の食材のPRも兼ねて「新健康弁当」を考案し、販売した。 ・アンケートの結果から燕市民の皆さんの食生活の意識の向上が確認できた。
これからの目標	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後は、メンバー全員はバラバラになるが、違う形でまた地域のために貢献したい。 ・新健康弁当を期間限定で再販売し、より多くの人に健康について考えてもらいたい。

野菜のクッキーを作って、子どもの野菜嫌いをなくそう



団体名	グッティ〜♪【吉田高校 盛燕プロジェクト】
活動の目標	燕市の野菜を使ってクッキーを作り、燕市の子どもたちの野菜嫌いをなくす。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> • 燕市の野菜を使ったクッキーを自分たちでデザインする。 • デザインしたものをプロの方に作っていただき、イベント会場または道の駅、学校行事などで販売をする。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> • 人参、カボチャ、ほうれん草の野菜クッキーを作成。 • 12月6日、7日に道の駅にて販売。(3枚入り100袋全て完売。) • イベントの企画を具体化する手法や課題解決、協力者との協働の仕方、団体・組織としての依頼連絡の実際的な方法、イベント当日の流れや現場における臨機応変な対応経験などを学べた。
これからの目標	<ul style="list-style-type: none"> • 進学先や地域イベント等で、学んだことを生かして活動に積極的に関わりたい。 • 協力して取り組む時には、連絡や報告、相談することが大切だと今回の活動を経て学べたため、今後の活動に活かしていきたい。

燕市のことをよく知るためのゲーム開発（すごろく）



団体名	Swallow（スワロー）【吉田高校 盛燕プロジェクト】
活動の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・燕市の内容を盛り込んだゲームを開発し、小中高生にゲームをやってもらい、地域に対する理解を深めてもらう。 ・ゲーム内容を発信し、地域のPRにつなげる。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田、燕、分水を舞台としたすごろくを作成する。 ・人生ゲームのようにゴールをしたときに、お金（仮想）を多く持っていた人から順位をつける。 ・マスには燕市の名所が載っており、別紙のQRコードを読み取ると情報を得ることができ、燕市について学習することができる。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・10月25日（土）吉田高校文化祭にて、小学生を対象にすごろくを実施することができた。 ・すごろくの量産が課題となり、11月に株式会社ほしゅう様に印刷および製造を依頼し、1月の下旬に校正が完了した。 ・2月上旬に納品され、すごろくの作成は完了した。 ・2月19日（木）に放課後の児童クラブにて、すごろくの実践を行った。
これからの目標	完成したすごろくを児童クラブや社会福祉施設、温泉施設などに配付し、地域のPRにつなげていきたい。

海の生き物図鑑 in 佐渡



団体名	燕中等教育学校 サイエンス部
活動の目標	サイエンス部 5 学年は、ほぼ毎年新潟大学の高校生臨海実習に参加している。その際に、観察された海の生き物を紹介する冊子を作成したいと考えた。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none">・海では、様々な「動物門」の生物が観察される。この「門」レベルの分類に着目し、「海の生き物図鑑 in 佐渡」を作成する。・この冊子は市内の小・中学校に配付したいと考えている。・海のない燕市だからこそ、海の生き物について学習する良い機会となると思う。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none">・今までサイエンス部では、「国上山の植物」「国上山の植物と鳥」の 10 ページの蛇腹折り冊子を作成してきた。・今年度は 8 ページの綴じ込み冊子となったが、無事完成させることができた。・系統樹や 8 つの「門」の紹介ページを作成し、コラムには臨海実習で観察した「ウニの発生過程」と佐渡で新種発見された「キングギドラシリス」を掲載した。・写真は全て臨海実習で撮影された生き物を使用しており、絵も学校で用意したものになる。
これからの目標	今まで作成した冊子やかるたを使用し、小・中学校へ出前授業をしたい。

“つばめのすてき”を見つけ隊！伝え隊！



団体名	吉田小学校 3年生
活動の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が燕市のすてきなものを学んで知り、いろいろな人に紹介する。 ・燕市内外の人々に燕市のすてきなものを知っていただく。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は、もとまちきゅうり、トマみそカレー豚丼、鶏肉のレモンあえについて学ぶ。 ・児童は、三条市立学校の児童、市内の人々に、もとまちきゅうり、トマみそカレー豚丼、鶏肉のレモンあえについて紹介する活動を行う。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田小の児童、一ノ木戸小学校3年生、須頃小学校3年生およびその保護者の皆さんに知ってもらうことができた。 ・吉田小保護者の皆さんに知ってもらうことができた。 ・吉田地区の市民の方々に知ってもらうことができた。
これからの目標	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田地区だけではなく、市内の人々にも知ってもらう。 ・今回みつけた“つばめのすてき”以外の、燕市の素敵なものを見つけていきたい。